

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2023 年 第 25 週（6 月 19 日～6 月 25 日）

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	13 人 類型 患者 4 人 無症状病原体保有者 9 人 血清型 O157 12 人、O103 1 人
四類感染症 レジオネラ症	7 人 病型 肺炎型 7 人
五類感染症 カバペ 耐性腸内細菌目細菌感染症	3 人 菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 3 人
急性脳炎	1 人 病原体 不明
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 AIDS
侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	11 人 病型 早期顕症Ⅰ期 9 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
バンコマイン耐性腸球菌感染症	1 人 菌種 <i>Enterococcus faecium</i>
百日咳	1 人 年齢階級 6 歳

## &lt;新型コロナウイルス感染症発生状況&gt;

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(7.02→7.18:図1)は前週と同水準であった。保健所別では、幸手(11.93)、南部(10.38)、狭山(10.16)、草加(9.95)保健所管内からの報告が多い。

## &lt;定点把握対象疾患の患者情報&gt;

小児科及び内科定点把握対象疾患では、ヘルパンギーナ(4.57→7.01:図2-4)の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加し、警報レベル開始基準値(6.00)を超えた。保健所別では、16保健所管内(県内17保健所)で前週を上回り、朝霞(13.40)、川口市(12.31)、熊谷(11.63)保健所管内で非常に多い。年齢階級別では1～3歳の報告が多く、56%を占めた。例年との比較では4歳及び5歳の割合が多い。RSウイルス感染症(2.63→2.87:図5,6)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、多い状況が続いている。保健所別では、春日部(3.00→7.00)保健所管内で大きく増加し、南部(11.00)、幸手(8.44)保健所管内からの報告が多い。手足口病(1.30→1.82:図7)の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、狭山(3.63)、川口市(3.23)、草加(3.08)保健所管内で多い。咽頭結膜熱(0.86→0.60:図8)の定点当たり報告数は、前週より減少したが、やや高い水準にあり、注意が必要である。保健所別では、熊谷(1.38)保健所管内からの報告が多い。

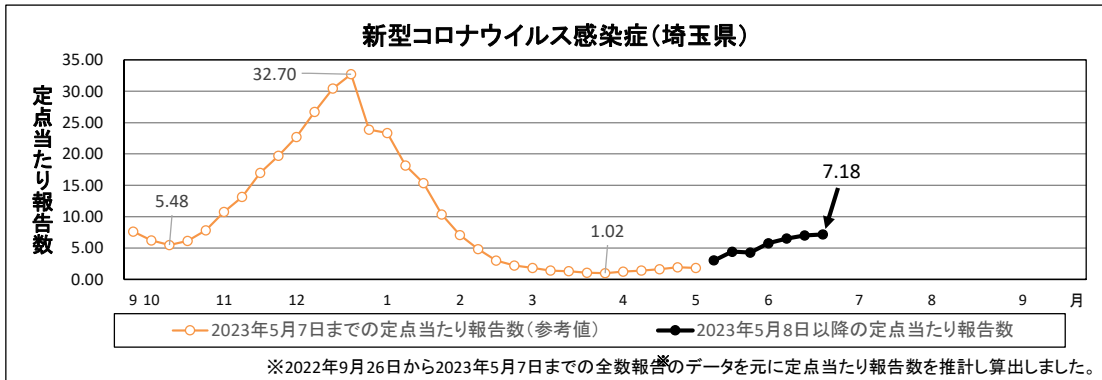
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、無菌性髄膜炎 2 人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第25週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

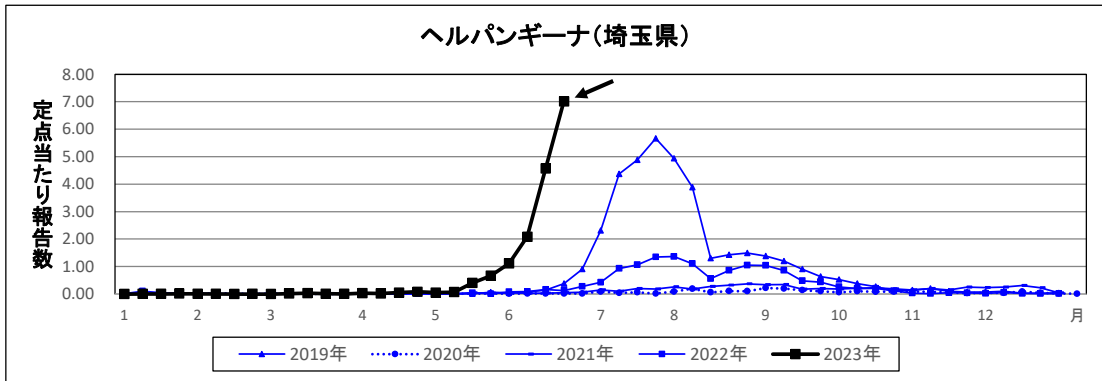


図3 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移（第23週～第25週）

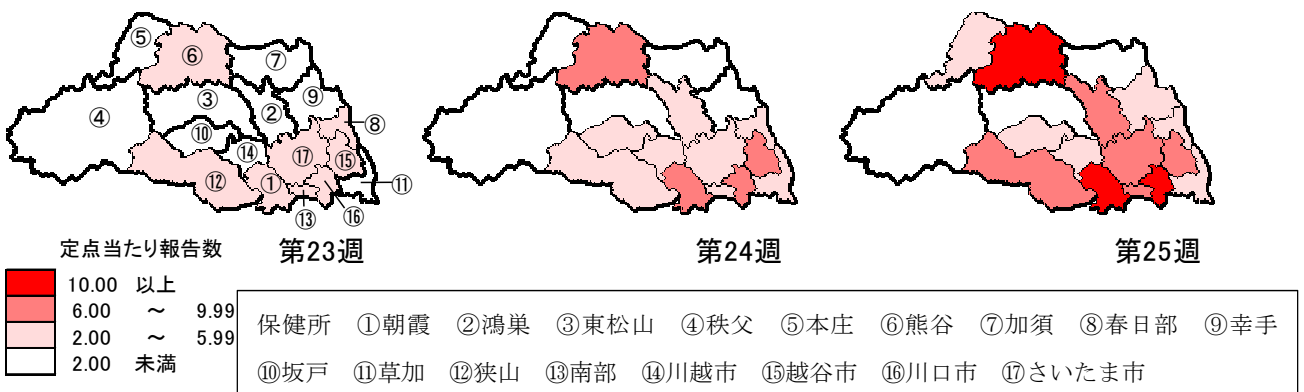


図4 ヘルパンギーナの年齢階級別報告割合の推移

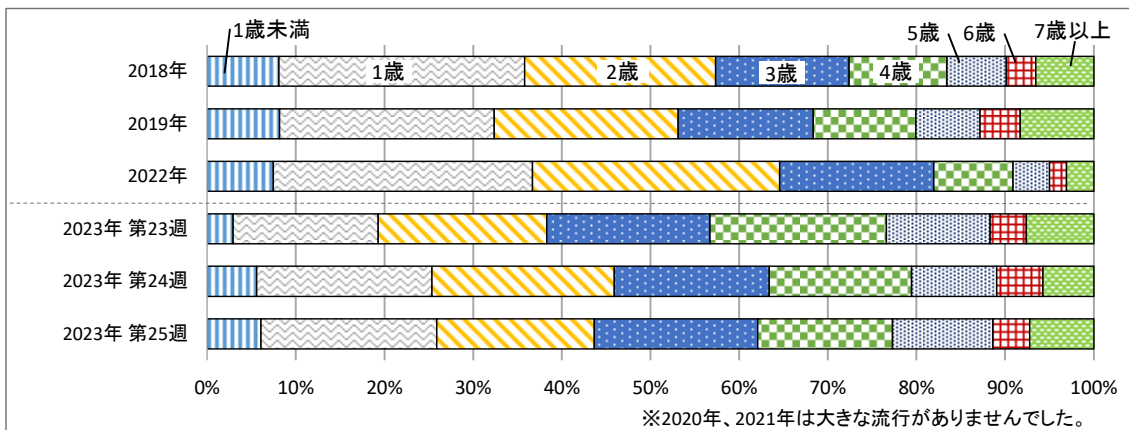


図5 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

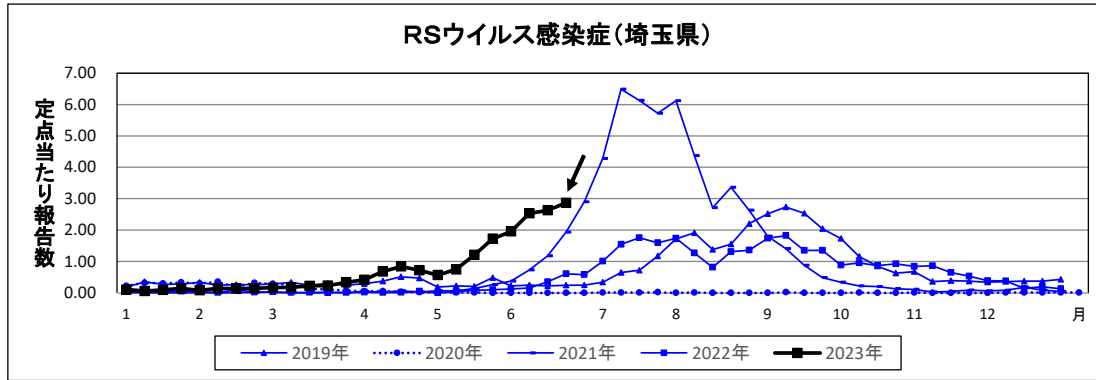


図6 RSウイルス感染症の保健所別流行状況の推移(第23週~第25週)

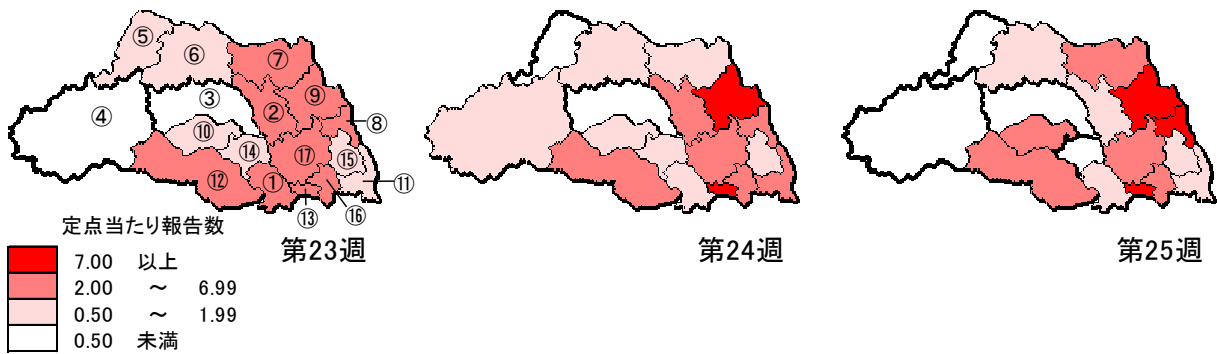


図7 手足口病

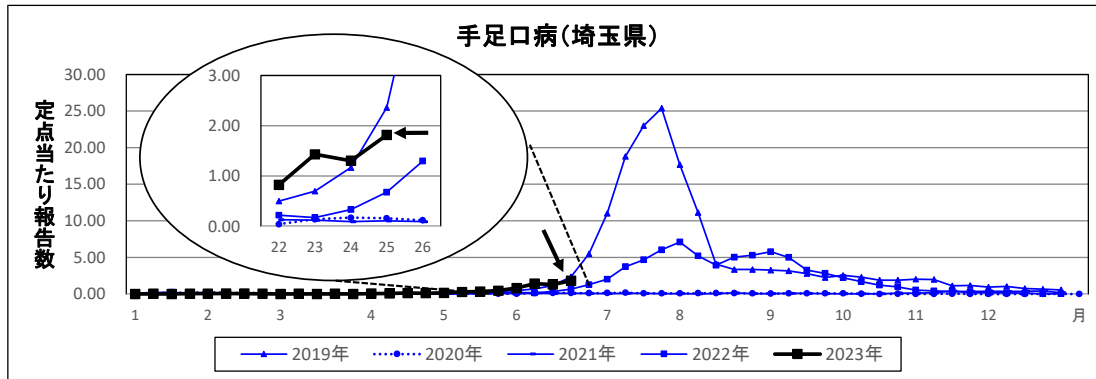
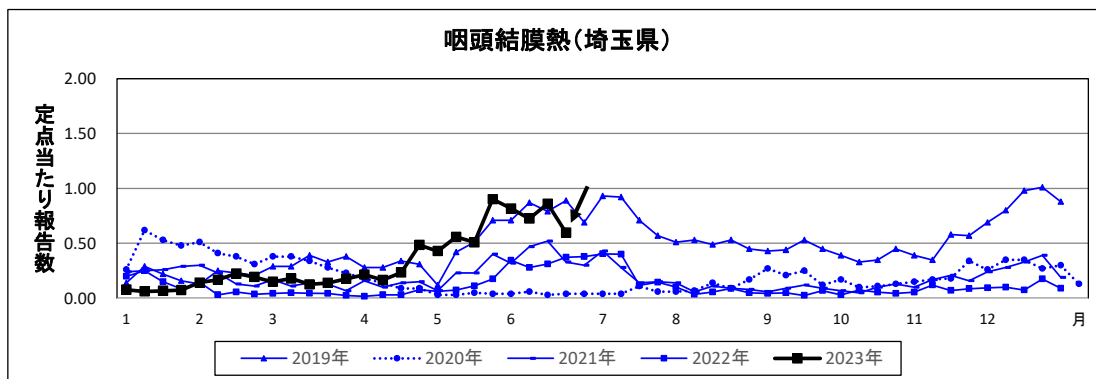


図8 咽頭結膜熱



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第25週)

(2023年6月27日 15:45集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	13	53			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		24	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	7	50
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		15	侵襲性肺炎球菌感染症	2	36
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)	1	7
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	32	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	11	230
急性脳炎	1	16	播種性クリプトкокクス症		3
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		17	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1
後天性免疫不全症候群	1	17	百日咳	1	20
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第25週

6月19日～6月25日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	感染症	感染症																	
全 県	報告数 239	1,873	470	98	347	1,327	56	298	2	52	1,150	19	3	10	1	2	-	-	-	-	-
	0.92	7.18	2.87	0.60	2.12	8.09	0.34	1.82	0.01	0.32	7.01	0.12	0.07	0.24	0.09	0.18	-	-	-	-	-
朝 霞	報告数 74	165	22	10	12	142	5	25	-	6	201	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-
	3.22	7.17	1.47	0.67	0.80	9.47	0.33	1.67	-	0.40	13.40	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 4	167	23	11	16	98	-	14	-	9	96	2	-	-	*	*	*	*	*	*	
	0.21	8.79	1.92	0.92	1.33	8.17	-	1.17	-	0.75	8.00	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	
東 松 山	報告数 -	39	-	1	3	28	-	8	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	4.88	-	0.20	0.60	5.60	-	1.60	-	0.60	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩 父	報告数 -	29	1	-	1	-	-	-	-	-	5	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
	-	5.80	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	1.67	-	*	*	-	-	-	-	-	-	
本 庄	報告数 9	11	-	3	1	1	-	1	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1.29	1.57	-	0.75	0.25	0.25	-	0.25	-	0.25	2.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊 谷	報告数 -	72	6	11	5	82	2	6	-	1	93	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	5.54	0.75	1.38	0.63	10.25	0.25	0.75	-	0.13	11.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加 須	報告数 12	30	18	1	3	1	-	15	-	1	11	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	1.20	3.00	3.00	0.17	0.50	0.17	-	2.50	-	0.17	1.83	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	
春 日 部	報告数 11	82	42	6	52	182	16	9	-	1	28	1	-	-	*	*	*	*	*	*	
	1.10	8.20	7.00	1.00	8.67	30.33	2.67	1.50	-	0.17	4.67	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*	
幸 手	報告数 28	167	76	6	45	22	2	24	-	-	22	3	-	1	*	*	*	*	*	*	
	2.00	11.93	8.44	0.67	5.00	2.44	0.22	2.67	-	-	2.44	0.33	-	0.50	*	*	*	*	*	*	
坂 戸	報告数 -	71	13	-	4	49	-	5	-	1	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	7.10	2.17	-	0.67	8.17	-	0.83	-	0.17	5.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草 加	報告数 8	189	8	7	9	146	1	37	-	1	51	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
	0.42	9.95	0.67	0.58	0.75	12.17	0.08	3.08	-	0.08	4.25	-	-	-	*	*	*	*	*	*	
狭 山	報告数 54	254	55	18	54	76	6	58	-	8	110	1	3	1	-	-	-	-	-	-	
	2.16	10.16	3.44	1.13	3.38	4.75	0.38	3.63	-	0.50	6.88	0.06	0.60	0.20	-	-	-	-	-	-	
南 部	報告数 8	83	55	3	36	66	13	10	1	-	45	1	-	-	*	*	*	*	*	*	
	1.00	10.38	11.00	0.60	7.20	13.20	2.60	2.00	0.20	-	9.00	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*	
川 越 市	報告数 4	64	3	-	22	31	-	4	-	2	41	2	-	1	*	*	*	*	*	*	
	0.29	4.57	0.38	-	2.75	3.88	-	0.50	-	0.25	5.13	0.25	-	0.50	*	*	*	*	*	*	
越 谷 市	報告数 3	114	13	3	2	69	3	5	-	2	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	0.23	8.77	1.63	0.38	0.25	8.63	0.38	0.63	-	0.25	8.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川 口 市	報告数 10	164	61	14	52	132	7	42	-	8	160	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
	0.50	8.20	4.69	1.08	4.00	10.15	0.54	3.23	-	0.62	12.31	0.15	-	0.25	-	-	-	-	-	-	
さいたま市	報告数 14	172	74	4	30	202	1	35	1	8	175	2	-	-	1	2	-	-	-	-	
	0.33	4.00	2.64	0.14	1.07	7.21	0.04	1.25	0.04	0.29	6.25	0.07	-	-	1.00	2.00	-	-	-	-	

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

6月 27日

16:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第25週

6月19日～6月25日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	239	-	1	4	7	6	20	11	19	29	30	25	36	24	5	13	6	2	-	1	-
新型コロナウイルス感染症	1,873	10	16	27	20	13	12	12	16	23	13	17	201	184	275	193	252	256	150	112	71
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	470	50	84	146	85	59	35	9	1	1	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	98	2	5	21	20	19	17	2	2	2	3	-	2	-	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	347	1	6	20	17	26	39	54	41	42	28	25	33	5	10						
感染性胃腸炎	1,327	11	56	154	130	159	170	153	148	104	62	49	79	13	39						
水痘	56	1	2	2	2	10	2	8	6	4	6	4	8	1	-						
手足口病	298	2	16	69	60	46	52	31	5	7	3	2	4	-	1						
伝染性紅斑	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
突発性発しん	52	1	12	29	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1,150	5	65	228	204	212	175	130	48	29	20	10	17	2	5						
流行性耳下腺炎	19	-	-	1	2	3	2	2	2	1	1	1	4	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	3	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	2	2	1	-	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第23週 (6月5日～6月11日)

令和5年6月28日

## <全国情報>

**インフルエンザ/ COVID-19定点報告疾患:** インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(6.53)、鹿児島県(5.10)、長崎県(4.73)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は63例と前週と比較して減少した。都道府県別では26都道府県から報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～9歳(15例)、10代(4例)、20代(1例)、40代(5例)、50代(5例)、60代(7例)、70代(8例)、80歳以上(15例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(18.41)、鹿児島県(7.37)、石川県(6.58)である。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山口県(7.16)、奈良県(5.15)、愛媛県(4.81)、宮崎県(4.81)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(1.64)、新潟県(1.20)、北海道(1.17)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福岡県(4.49)、富山県(3.28)、鳥取県(3.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(10.92)、熊本県(10.90)、長野県(10.17)である。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は茨城県(2.87)、宮崎県(2.58)、岡山県(1.52)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は石川県(0.07)、福島県(0.06)、栃木県(0.06)、岐阜県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(10.67)、和歌山県(7.10)、愛媛県(6.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(0.33)、東京都(0.23)、兵庫県(0.17)である。

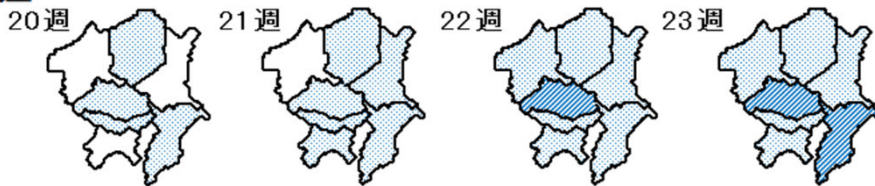
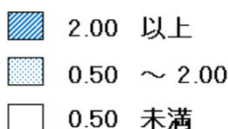
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(2.17)、大分県(0.36)、長野県(0.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。3都道府県から3例報告があり、年齢別では10～14歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第23週(6月5日～6月11日): 通巻第25巻 第23号 より

## <関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、千葉県(2.64)、埼玉県(2.53)からの報告が多い。

### RSウイルス感染症



2023年 23週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,688	2,030	138	30	102	393	312	701	354
	定点当たり	1.36	1.33	1.15	0.39	1.17	1.51	1.51	1.69	0.98
新型コロナウイルス感染症	報告数	25,163	8,515	596	266	320	1,700	1,330	2,486	1,817
	定点当たり	5.11	5.58	4.97	3.50	3.68	6.51	6.46	5.99	5.03
RSウイルス感染症	報告数	8,285	1,732	65	76	51	415	338	448	339
	定点当たり	2.64	1.82	0.87	1.58	0.94	2.53	2.64	1.72	1.51
咽頭結膜熱	報告数	2,161	566	73	12	43	119	88	130	101
	定点当たり	0.69	0.59	0.97	0.25	0.80	0.73	0.69	0.50	0.45
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,237	1,595	141	62	57	347	232	487	269
	定点当たり	1.67	1.67	1.88	1.29	1.06	2.12	1.81	1.87	1.20
感染性胃腸炎	報告数	19,696	6,641	390	104	356	1,509	1,022	1,799	1,461
	定点当たり	6.29	6.96	5.20	2.17	6.59	9.20	7.98	6.89	6.52
水痘	報告数	397	152	14	4	8	47	25	25	29
	定点当たり	0.13	0.16	0.19	0.08	0.15	0.29	0.20	0.10	0.13
手足口病	報告数	2,057	850	215	19	14	235	99	170	98
	定点当たり	0.66	0.89	2.87	0.40	0.26	1.43	0.77	0.65	0.44
伝染性紅斑	報告数	56	23	1	3	-	3	-	14	2
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	0.06	-	0.02	-	0.05	0.01
突発性発しん	報告数	984	319	14	28	22	57	27	76	95
	定点当たり	0.31	0.33	0.19	0.58	0.41	0.35	0.21	0.29	0.42
ヘルパンギーナ	報告数	9,390	2,813	116	87	120	342	490	979	679
	定点当たり	3.00	2.95	1.55	1.81	2.22	2.09	3.83	3.75	3.03
流行性耳下腺炎	報告数	287	123	4	4	5	22	6	60	22
	定点当たり	0.09	0.13	0.05	0.08	0.09	0.13	0.05	0.23	0.10
急性出血性結膜炎	報告数	15	9	7	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.04	0.41	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	238	102	11	5	4	9	24	14	35
	定点当たり	0.34	0.49	0.65	0.42	0.29	0.21	0.69	0.37	0.69
細菌性髄膜炎 #2	報告数	10	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	5	-	3	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.06	-	0.43	-	0.09	-	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	28	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.06	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

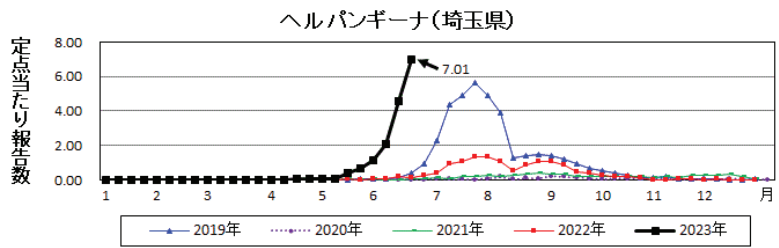
- 感染症発生動向調査 2023年**
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
  - ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
  - ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第20週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2023年 第21週](#)

## 感染症の流行状況 2023年 第25週

2023年第25週（6月19日～6月25日）の要点 令和5年6月28日

[ヘルパンギーナ](#)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、警報レベル開始基準値を超えました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★	<a href="#">手足口病</a>	↑	★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	→	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	↑	★★★★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↓	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

